

(様式第4号)

令和6年度「地域課題の解決に向けた協働推進事業」実施結果

(事業名)屋久島における生物多様性保全事業

実施主体

(団 体 名)特定非営利活動法人HUB&LABO Yakushima
(担当課名)自然保護課



背 景

屋久島は、その豊かな自然環境から世界自然遺産に登録されており、ヤクスギ帯をはじめとする山岳部や森林などの陸域の自然環境に対して高い関心が寄せられている。一方で、屋久島は全国有数の豊かな海水魚相を有し、淡水域においても南西諸島由来の希少種がたびたび確認されているにもかかわらず、水域の生物多様性に対する関心は、島内外を問わず十分に高まっていないのが現状である。その要因の一つとして、これまで水域の包括的な調査が十分に行われておらず、希少種の分布状況や外来種の影響についての情報が限られていることが挙げられる。その結果、屋久島の水圏生物相に関する認知度や注目度が依然として低い状況にある。今後、体系的な調査を進めることで、水域の生物多様性に対する理解を深め、保全活動の重要性を広く周知していく必要がある。

地域課題

屋久島の生物多様性を保全していくためには、河川から海に至る流域全体における水圏生物相の生息環境を調査し、その結果をもとに生物多様性の意義について普及啓発を進めることが重要である。これにより、地域全体が一体となって水圏生物の多様性保全に取り組む体制を構築し、持続可能な保全活動の推進につなげていく必要がある。

事業のねらい

1. 屋久島の多様な生物の生息環境を、海辺を中心とした水域全体から把握する(下流域、干潟磯、海域)。
2. 河川流域の全体の調査にて把握した生物同士のつながりから生物多様性の重要性を示すデータを収集する。
3. 事業終了後も生物多様性をより深く島民に伝えられるよう、オープンデータの作成と上記調査を自分たちでできる地域コミュニティネットワークを構築する。
4. 屋久島島民に生物多様性の重要性の普及啓発を行うと共に、環境省との連携を図り水辺の希少種保全と外来種駆除の意識を高める。

事業概要

1. 海辺の生物多様性講座およびプロジェクト説明会
本事業の趣旨を理解していただくことを目的に、地域住民向けの説明会および生物多様性講座を開催する。講座には専門家を講師として招き、生物多様性の重要性について解説する。
2. 季節ごとの生物調査
春田浜にて夏・秋・冬の各季節に生物調査を実施する。調査は専門家の指導のもと、地域住民が主体となって行い、調査方法や生物相について学ぶ機会とする。
3. 調査結果の報告会および水辺の生き物観察体験会
生物調査によって明らかになった水辺の生物多様性について、地域住民への普及啓発を目的とした報告会を開催する。また、地域住民が水辺の生き物に直接触れ、理解を深める機会として、生き物観察体験会を実施する。



成 果

1. 夏・秋・冬の流域全体における生物調査を実施した。その結果、春田浜の干潟・磯・湿地において、魚類(海域・河川生物を含む)87種の生息を確認した。また、そのうち4種が絶滅の恐れがある希少種であることを確認し、外来種の生息は確認されなかった。
2. 地域住民を主体とした生物調査やプロジェクト報告会を開催し、延べ120名が参加した。これらの取組を通じて、生育環境調査を活用した生物多様性保全の普及啓発を行い、汽水域や磯場といった異なる環境をつなぐ「エコトーン」における希少種保護および外来種防除に関する意識向上を図ることができた。
3. 生物調査の手法やプロジェクトの成果をまとめた調査報告書を作成した。これにより、来年度以降も地域住民主体の生物多様性保全活動を継続するための基礎資料として活用できる体制を整えた。



協働の状況

- 特定非営利活動法人HUB & LABOYakushima(事業実施主体)
- NPO法人くすの木自然館、NPO法人うみがめ館(調査方法・生物種同定の助言)
- 環境省屋久島自然保護官事務所(事業実施に係る助言, 指導)
- 自然保護課(事業実施に係る助言, 指導)

今後の取組

- 令和7年5月に春季の調査を実施し、年間を通じた河川調査を完了させる。
- 春田浜以外の屋久島島内22地区においても、河川、汽水域、磯場などの異なる環境をつなぐ「エコトーン」の調査を実施し、生息環境の把握を進める。
- 水圏生物調査による生物多様性保全プロジェクトチームを中心に、年間を通じた生息環境調査を実施する計画である。資金については、来年度以降の補助金申請を検討し、継続的な調査および保全活動の推進に向けた支援の確保を模索する。



協働事業の感想

団体からの声

本事業を通じて、海辺の包括的な調査を行うことができ、希少種を確認することができた。また、屋久島の水圏生物相のつながりからエコトーンの重要性と生物多様性調査の保全の重要性を示すことができた。

担当課からの声

本事業を通じて、海辺を中心とした水域における生物多様性を確認することができた。また、調査は地域住民が主体となることで、地域における希少種保護や外来種駆除の意識を高めることができた。